



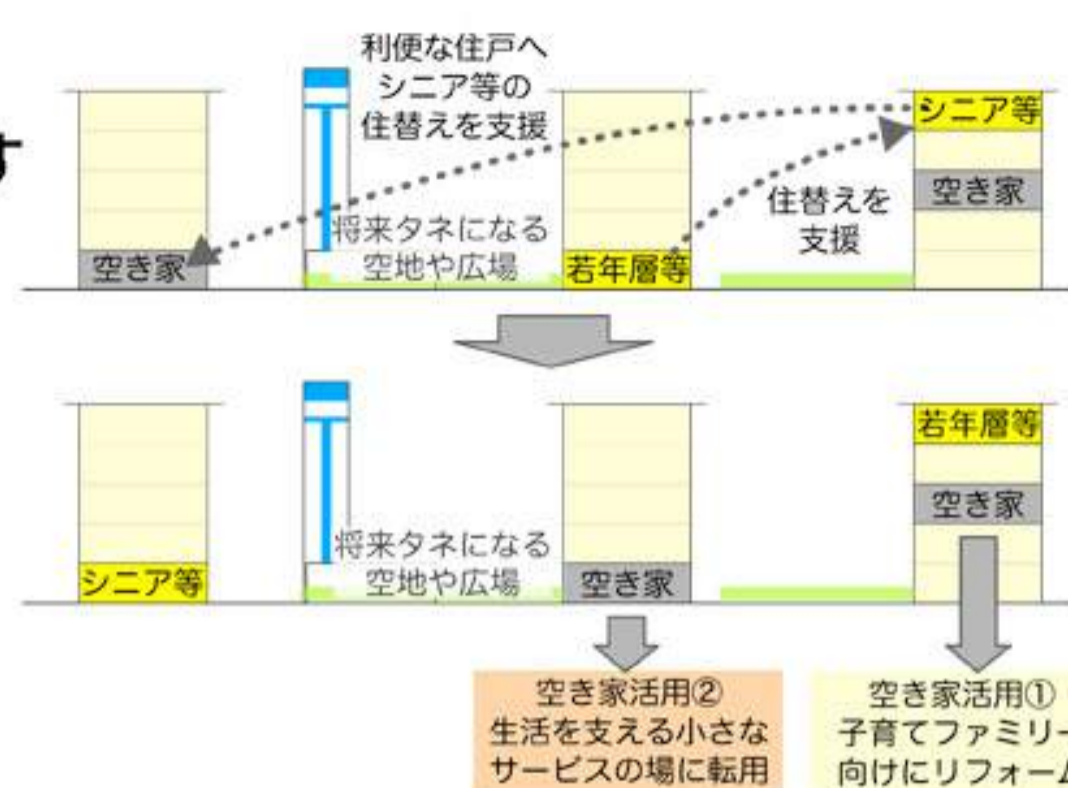
団地にいま足りていないコトや思いを、豊かなオープンスペースや住民のみなさんが持つ経験・ノウハウを活用して満たします。
左近山のコミュニティを活性化し子育てファミリーが住みやすくするために、子供達が様々な遊びと居場所を自由に選んで回遊し、大人も楽しみながら教えることができる団地づくりを提案します。
そのために、団地内の公園や広場を中心に、拠点となる5つの「タネ」をつくります。タネには空き家を転用した施設を設け、タネ同士を回遊できる小径を設けます。また、「地」となる美しい環境を整えます。

2. コミュニティ活性化に資する空き家活用のイメージ

子育てに向けた住まいと、生活を支える小さなサービスの場を提供します

団地内での住替えを支援して、シニア居住者等の生活利便を向上しつつ、一般の空き家と5つのタネに面した空き家とに分けます。

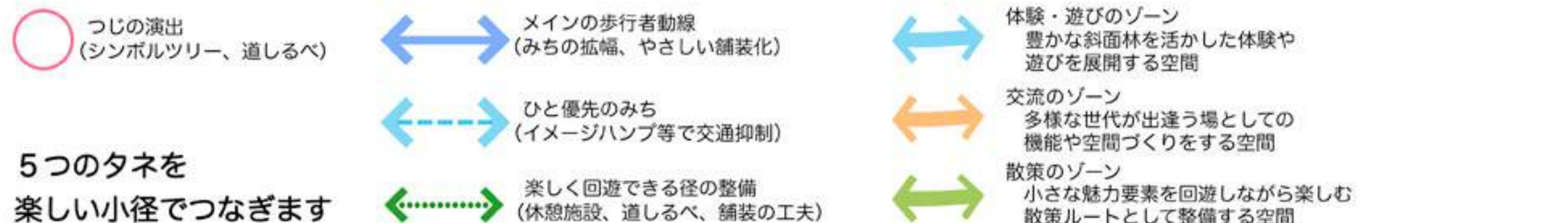
一般の空き家は、子育てファミリー向けに広いリビングや可変性のある住まいにリフォームします。
タネに面した空き家は、主に団地居住者が自分たちの生活を支える様々なサービスを提供する場に転用します。



1. 外部空間改善の考え方

公園や広場を、その場所に合った特徴を持つ5つのタネ(拠点)として整備して楽しい小径でつなぎます

子供たちが自分で居場所を選んで様々な遊びができるように、また、大人も楽しみながら子供に教えることができるタネ(拠点)を、団地内の小公園や広場を中心に設けます。周囲との関係を考えて特徴をもたせより歩行者に優しく整備した回遊路を通してつなぎます。



団地の"地"の環境をととのえます

景観には、「主役」と「脇役」があります。左近山団地の景観の「主役」は豊かな自然と人々の活動です。これらを引き立たせるために、それ以外の要素を「地」としてととのえます。

色で"地"を整える

強く目立つ自転車置き場やごみ置場・ガードレール・看板などを土や木の幹に近い色に抑えて、自然がより「主役」として目立つ環境を作ることが出来ます。また住棟も含め団地全体として統一した色彩体系を持つ事で一体感のある空間となります。



■自転車置き場/ガードレール/ごみ置場の色を周辺に馴染ませたイメージ例

既存の住棟も自然に馴染みやすい黄赤系色相(10YR系)の低彩度で統一されています。自転車置き場などを同色相・低彩度で整えていくと自然環境の映える調和した空間となります。

基調色	補助色	鉄部色
日蓮工 19-908 (10YR 9/1)	日蓮工 19-709 (10YR 7/2)	日蓮工 19-40D (10YR 4/2)
日蓮工 19-60B (10YR 6/1)	日蓮工 19-40B (10YR 4/1)	

■現在の住棟に使用されている色

■目立たせる必要のない要素の推奨色の例

色で"場"を作る

暖簾・サイン幕・傘などの小さな要素に統一した鮮やかな色を用いて、タネ(拠点)ごとの特徴を出します。



■左：小布施町、右：軽井沢ハルニレテラス

空き家活用① 子育てファミリー向けにリフォームします



大きなリビングの家
リビングを広く取り、子供が室内でものびのび遊び家族が触れ合う住まいとします。(約50㎡(15坪)1LDK)

間取りを変えられる家
家族構成や住まい方の変化に合わせて可動間仕切りで部屋を増やせる住まいです。(約50㎡(15坪)1LDK~2LDK)

贅沢な家
階段室を挟んだ2つの住戸を使い、3つの洋室や広々とした水回りのゆとりある住まいです。(約100㎡(30坪)3LDK)

空き家活用② タネの空き家を、生活を支える小さなサービスの場に転用します



Mama Dining
土間の共同キッチンで、前庭から直接上がれるようにします。食材を持ち寄って皆で一緒に食事をつくります。

キッズルーム
親の目が届くところで小さな子供が遊べる室内スペースです。ベビーカー置き場や授乳室が設けられていて、安心して過ごせます。

みんなのアトリエ
ちょっとした教室を開いたり、絵を描いたり創作活動に適した部屋です。中の活動の様子が前庭から見えて、団地に活気をもたらします。

ここでいうサービスは、かっちりとした商売やサービスでなくても構いません。団地居住者が自分たちのために安価なサービスを提供します。特にシニア等の居住者のノウハウや技術を積極的に活かします。子供の面倒を見る部屋や、共同で食事をつくって食べる部屋、個人塾や各種教室の他に、作業やアトリエとして使える部屋等を設けます。この施設での活動を通して多世代間の交流が生まれます。

30~40代の子育てファミリーに聞きました！

・2015年11月実施。計10世帯へのアンケート調査

- Q1 自由に使える庭や空地でしたいことは？(複数回答可)
 - 6票 ガーデニング、家庭菜園
 - 2票 パーベキュー
 - 1票 子供たちの遊び場、食事
 - 1票 プール、犬と遊ぶ、バスケボール、日曜大工、秘密基地づくり、キャッチボール
- Q2 家の外で子供を遊ばせる時に欲しい施設は？(複数回答可)
 - 4票 (おむつ替えができる)トイレ
 - 3票 アスレチック、ジャングルジム
 - 2票 授乳室、子供だけが入れられるパーク、屋根がある場所、雨でも遊べる広場、木陰、休憩スペース、素足になれる芝生
 - 1票 クライミング、登れる木、生物が観察できる広場、水遊びができる場所
- Q3 野外やプレーパークでの遊びについてどう思いますか？
 - 6票 良い
 - 3票 条件付きで賛成(ルールが難しい、近所であれば、ゴミがなければ)
 - 1票 インドア派なので利用しない
- Q4 子育てのために家に求める条件は？(複数回答可)
 - 4票 立地
 - 3票 周辺環境(交通、薬局、買物、公園)
 - 3票 成長やライフスタイルに合わせて変えられる広いリビング
 - 2票 十分な収納、日当たり
 - 1票 掃除のしやすさ、バリアフリー、専有庭、子供の動きが目に入る、会話しながら家事ができる、子供が大人の生活リズムに引きずられない
- Q5 親世代との近居についてどう思いますか？
 - 10票 ありがたい





3. 1期整備地区の整備計画

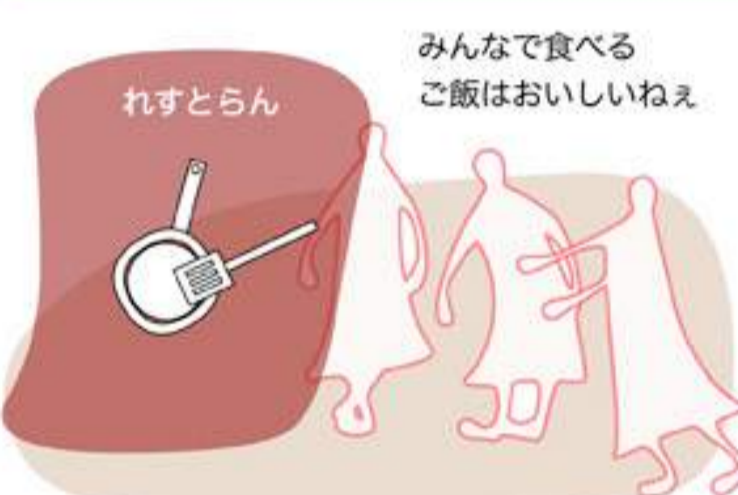
団地にあそびのタネをまく

はじまりの集うタネ「Hello! Park」

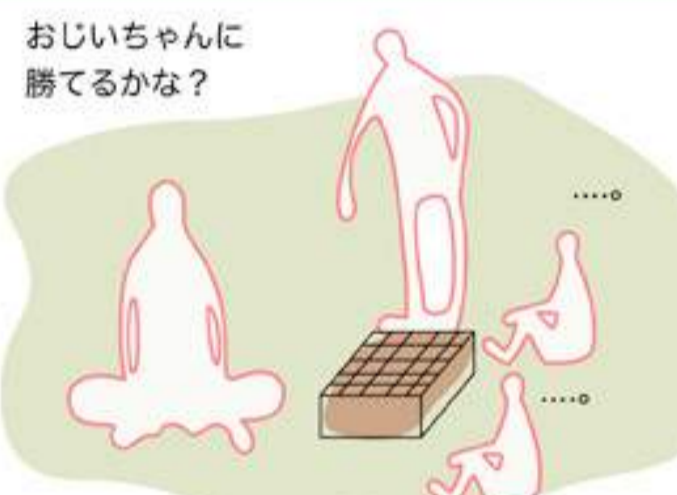
団地再生コンセプトにおけるこのタネのテーマは「集う」。

この広場がきっかけとなって多様な人びとが出会い、会話が生まれ、仲間の輪が広がっていきます。ここで暮らす人びとが繰り広げる多様なアクティビティをしなやかに受け止められる器となる空間です。


仕切りのない一続きの空間の中に、異なる機能とテイストを盛り込み、多様な出会いが生み出されます。

れすとらん
みんなで食べる
ご飯はおいしいねえ



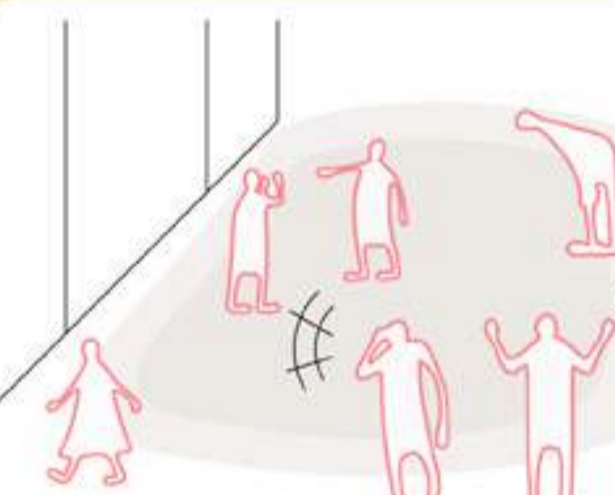
おじいちゃんに
勝てるかな？



火がついた！！

Mama Dining
みんなのアトリエ など

広場に面した1階空き家を転用して生まれた小さなサービスでは、日々多様な魅力的な活動が展開されます。前庭部分にデッキテラスを設けることで、広場側との一体的な利用へと発展していくことを目指しています。



集会所と広場がつながった！

集会所前の土間

集会所前にたっぷりとした土間空間をつくりたい。集会所と一体となった利用や、災害時の活動スペースとして活躍します。また、バリアフリー基準に対応した階段とスロープを整備することで、高齢者の方やベビーカーのお母さんに優しい空間にしていきたいです。



ただいま！
おかえり！

つじのテラス

まちかどにストリートファニチャーを設置して、休憩したり会話する場所をつくりたい。




今年新しい野菜に挑戦！

にわを使おう！

有効に使われていない庭を使おう！



これなあに？

木陰テラス

ケヤキやエノキが伸びやかに枝を張る緑陰の元で、憩いのひと時を過ごすことができます。適宜、樹木を開くことで、現在の過密な状態を改善し、これからは元気に成長し続ける予定です。



ZZZ...

みんなの舞台


かつて団地の生活に密着した存在だったプール。この地区の個性に新たな機能を与えて「団地再生の新たなシンボル」として活かします。大きさはかつてのプールと同じ6m×17mですが、今度は凸型のテラスとなつて多くの人のための居場所になっていきます。



ころんでも痛くない！
足腰にも優しい！

フワフワテラス

かつての交通広場は「安全・安心の多目的広場」として生まれ変わります。小さな子どもや高齢者の方たちにも優しい、柔らかいゴムチップの舗装床です。かつての姿をイメージさせる舗装パターンは、子どもたちの自由な発想力であるな遊び方に発展していきます。



道路だけで安心！

みんなのみち

通過交通が少ない前面道路を「歩行者優先のみち」化することで、広場的な利用のできる場になっていきます。舗装面の色や材質を変えることでイメージアップを図るとともに、交差点部にイメージジャンプを設置することで注意喚起を図ります。



ふわふわ！でこぼこ！

でこぼこひろば

特に小さな幼児が安心して過ごせるように配慮した、マウンド遊具のあるゾーンです。周囲を囲む土手は、他の子どもたちとの突如の接触から幼児を守るとともに、見守るお母さんのベンチにもなっています。